

# とよひら



編集

豊平区役所総務企画課広聴係  
〒062-8612 豊平区平岸 6条10丁目  
☎822-2400 内線 214・215  
FAX813-3603

## とよひら元気印 (第34回)

### 独) 土木研究所 寒地土木研究所

寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム 豊平区平岸



### 研究の成果を身近な暮らしの中で生かしたい

豊平川に程近く、敷地内には精進川が流れる寒地土木研究所。桜の名所として地元の人が多く訪れるこの研究所は、日本で唯一、寒冷地特有の厳しい気候や地質などの調査を行い、その結果を道路建設や河川管理、農業、防災などに生かす研究をしています。

寒地水圏研究グループの水環境保全チームは、地球規模の水環境から身近な川や沼、湿地まで「水」に関する課題に取り組んでいます。上席研究員の山下彰司<sup>やましたしょうじ</sup>さんは「研究の成果を身近な生活に生かすことが、大きな役目だと感じています。例えば、雪解け水が河川や生物に与える影響などを調べ、豊かな水資源の保全につなげる研究をしています」と静かに語る言葉の端々に、研究への熱い思いを感じさせます。

### 自然と人の共存を目指して

「札幌は豊平川が育てた町なんです。190万人もの人口を抱える都市で、水がほぼ100%市内で賄えるのは奇跡的。おいしい水が飲めるのは、川の上流に豊かな森やダムがあるからだと多くの人に知ってもらいたいですね」と語るのは、グループ長の吉井厚志<sup>よしあつし</sup>さん。

研究の大きなテーマは、自然と便利さの共存、すなわち環境保全と社会基盤整備の調和です。「環境保全の意識が高まる中で、環境に配慮した『持続可能な開発』のため、少しでも研究が役立てばと思います」と2人は表情を引き締めます。

毎年7月には、施設内が一般公開され、研究の見学や体験ができます。「研究を体験した子どもたちが、科学だけにとどまらず幅広い分野に興味を持ち、将来『持続可能な開発』の担い手として活躍してくれるとうれしいです」と笑顔がこぼれる山下さん。

最も身近である環境の未来を考える壮大な研究は続きます。



◀ 昨年7月の一般公開の様子

今年の一般公開は7月3日(金)・4日(土)。  
住所：平岸 1-3 ☎590-4046  
交通機関：南北線「中の島」駅下車徒歩3分

| 豊平区の人口・世帯数 |                  |
|------------|------------------|
| 人口         | 209,843人 (+74)   |
| 男          | 97,851人 (-101)   |
| 女          | 111,992人 (+175)  |
| 世帯数        | 104,854世帯 (+270) |

※(4月1日現在。( )内は前月比)

3りん

めえん

毎月14日は  
とよひらの日

豊平区ホームページ  
「夢ひらく花ひらくとよひらく」  
<http://www.city.sapporo.jp/toyohira/>  
豊平区広報番組「豊平インフォメーション」  
FMアップル76.5MHz  
毎週木曜日午後3時～

